

# 北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

## 「あしたまたよろしく」

### 重度障がいの子と生きる

#### 親子と「のんき村」の40数年の歴史

厚岸町手をつなぐ育成会の小野寺敏雄さんが、重度の自閉症の我が子との40年の歴史を、同じ悩みを持つ親の皆さんの参考になればとの気持ちでまとめられました。小野寺さんに、冊子に綴った思いを書いていただきました。

#### 勇気をもらったことば

「あした また よろしく」この言葉は、文中にも書きましたが、大志と二人で作業所の必要性を訴えて販売活動をしていった時に、中々展望が見いだせずに、つい愚痴をこぼしたときに掛けてくれた大志の言葉です。

私はこの子の為に頑張っているつもりでしたが、この言葉で勇気ももらい、そこから二人三脚で取り組んでこれたと思っています。

我が子と過ごした四十数年は、時代的に福祉の転換期だったと思います。その意味では幸運に恵まれていたと思います。

#### 制度は変わったが、

#### 重度障害者の現実

平成18年には、自立支援法が出来、施設中心の支援から、小規模な事業所



でも様々な支援サービスが出来るとなり、沢山の事業所が作られました。

一見障害者を取り巻く環境が大きく改善されたように見えますが、支援の質が向上されたとは一概に言えません。特に昨今ニュースにもなっている営利事業者による重度障害に特化したグループホームの運営などは、虐待の温床になる危険性が心配されます。

私の活動の根底にあるのは、当時も今も、重度の知的障害者が圧倒的に虐待の被害者になって居る事への不信感です。

繰り返し返される虐待の対象に我が子が巻き込まれたら、と考えるといたたまれない想いです。そうならない為に何が出来るか、それだけを考えて走り続

けてきました。

みなんで考えるきっかけに

十分な情報も持たずに、今日をただ頑張り返しても、いつも無駄な浪費を繰り返している不安が付きまといました。

その様な中で、育成会が示してくる障害者支援の方向や制度の現状を頼りにここまでやってこれたと思っています。

まだまだ課題は山積のままではなかなか目途が立ちません。年齢を思うと暗澹とする日々の中で、せめてここまでの事を記録に残したいと思いこの小冊子を作成しました。

短期間で書き上げましたので、書き残した事、使用できなかった写真など心残りが多いのですが、これを切っ掛けに知的障害者の支援の在り方や、制度に対する要望について話し合う機会が増えたら嬉しく思います。

(厚岸町手をつなぐ育成会

事務局長 小野寺 敏雄)

#### 《冊子に関する問合せ先》



北海道手をつなぐ育成会事務局  
電話：011-251-0855  
e-mail：doikusei@air.ocn.ne.jp

## 続報 函館大会

### 本人大会開催に向けて

4月23日

#### 本人大会実行委員会 函館市長を訪問

4月23日(火)、本人大会実行委員長の函館いかす会 成田伊織さんと実行委員の四村真さんが、大泉潤函館市長を訪問し、9月28日(土)に開催される本人大会について説明し、ご支援をお願いしてきました。



成田さんから、本人大会は1995年から開催して、今回の函館で30回目になることや、「私たち自身で決めたり、考えて」全道から仲間が集まって開催していること、全道各地で開催する中で、新たな本人会ができていくことなど、本人大会の歴史や目的、開催の意義について市長に説明しました。また、「障害者権利条約を日本が批准しましたが、暮らしの中や学校などで困ったことや、差別をされたり、暮らしのためのサービスがわからないことがある」と話し、「それを少しずつ変えるために、仲間が集って、

大小にかかわらず悩みや体験を話したり、聞いた

り、仲間同士で考える場

と時間が大切です」と、

本人大会の大切さを訴

え、「ぜひご理解をいた

だき、応援してほしい」と伝えました。

市長からは、「函館市はインクルーシブな街づくりを力を入れている。自分達で企画して大会を作っていくことは大変苦労が多いと思うが、頑張ってください」と激励を受けました。

最後に、実行委員と市長で記念撮影もいい、和やかな雰囲気でした。

#### 本人大会成功に向け、準備を進める

函館大会本人大会は、大会テーマ「地域で共に学び合い、支え合って全力で自分らしく生きる明日を！」のもとに、「私たちの事を決める時は、私たち抜きでは決めないで」、「夜景の街 函館から発信!! 虐待も差別もない、ともに生きる地域へ」のスローガンをかけ開催されます。大会では、「虐待・差別・人権問題など」、「生活・仕事・暮らし・健康など」の2つの分科会で、参加した仲間同士で、体験したことや考えたことを語り合い、「自分らしく生きていける社会の実現」をするために発信していきます。

現在、全道各地の本人会から実行委員が集まって成功に向けて話し合いを重ねています。



思い出観光で訪れる予定の五稜郭公園

## 第70回全道大会千歳大会に向けて

### 石狩ブロック総会で準備開始

4月3日(水)11:00より、かでの2・7を会場に石狩地区連絡協議会の総会が開催されました。ブロック内の全ての5地区育成会から、9名の会員が集まり、道育成会からは佐藤会長が出席し、挨拶をしました。

江別手をつなぐ育成会の東会長の進行で、令和5年度の活動・収支報告、令和6年度の活動計画、令和7年度の全道大会千歳大会について、途中昼食をはさみながら話し合われました。

総会の中では、会員の高齢化がすすむ一方で、若い会員が広がっていないなど各地区育成会の困難な状況がある中でも、育成会の運動を持続していくことの大切さを確認し、事務局や役員の今後の担当を決めました。

全道大会千歳大会については、9月に千歳市民文化センターを会場として、一日開催を予定しております。会場参加で、講演と分科会のほか、道育成会70周年記念プログラムも行う予定です。分科会、チャレンジド、懇親会を各地区育成会で分担して担当することを決め、次回以降の会議で具体化していくことになりました。





## 札幌市内の特別支援学校 教室不足解消に向けて一歩

2度にわたる親の会共同の要望書提出から

令和4年10月、令和6年2月と二度に渡って、道育成会を含む障がい児者親の会8団体（令和4年は7団体）と北海道障害児教育フォーラム実行委員会が共同して、北海道教育委員会に特別支援学校の教室不足解消を求める要望書を提出してきました。この間、令和5年度に北見支援学校の増築が予算化されましたが、道内各地の知的障がい特別支援学校の教室不足の状態は解消されていませんでした。札幌市内では、小中高の3学部を設置している知的障がい特別支援学校3校は、すべて教室不足。特に札幌伏見支援学校は著しく、家庭科室などの特別教室を普通教室に転用したり、体育館の使用が限られるなど、学習を十分に保障できない環境でした。札幌市育成会の見学でも「学校と言えぬ環境ではない」などの声が出ていました。

### もなみ学園分校増築、学区変更が決定

知的障がい児の入所施設もなみ学園の移転に伴い、伏見支援学校もなみ学園分校の増築が決まり、伏見支援学校の通学区の変更案が示され、5月10日に説明会が開催されました。道教委からは、伏見支援



改築する旧もなみ学園施設

学校は設計当初の2倍近くの学級数で、「早期の改善を図ることが必要」であると説明され、移転した旧もなみ学園の施設を整備して校舎とすることや、グラウンドの一部に校舎を増築し、伏見支援学校の通学区の一部をもなみ学園分校の区域に変更することが説明されました。その結果、伏見支援学校の通学区は中央区のみとなり、将来的には24学級120人程度の在籍になる見通しです。

増築は令和9年4月に完了する予定ですが、それに先立って令和7年4月以降の入学・転入から、通学区を変更することです。通学手段を保障するため、もなみ学園分校では、これまでなかったスクールバスの運行もすることになります。また、現在伏見支援学校に在籍する児童生徒については、高等部卒業まで在籍できること、スクールバスを学区変更後も豊平・南区でも運行すること、きょうだいが在籍している場合は入学・転入が可能であることも明らかにされました。説明会参加者からは、「伏見支援のスクールバスは学区外になっても運行してもらえるのか」「工事中使えないもなみ学園分校のグラウンドの代替措置はないのか」などの心配が語られました。適切な対応が望まれます。

## 2024ほっかいどう

### ナイスハートフェア inアリオ札幌

障がいのある方の就労施設などの製品の販路拡大をめざして、多くの皆さんが集まる大型ショッピングセンター「イトーヨーカドー



アリオ札幌店」で、毎月第1火曜・水曜日の2日間を基本として、「ほっかいどうナイスハートフェアinアリオ」が今年も開催されています。道と㈱イトーヨーカ堂が連携し、定例的に製品の販売・PRを行うことを目的に平成20年から開催されています。

5月は、14・15日に開催され、札幌市手をつなぐ育成会が運営する元気ショップ「いこくる」が出店しました。

### 能登半島地震義援金

## ありがとうございました

1月1日に発生した能登半島地震は、甚大な被害をもたらし、いまだに困難な状況の中におかれています。全育連の呼びかけで取り組まれた義援金は、道育成会に寄せられた金額が442,050円（4月末現在）となりました。皆様の取り組みに敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

この取り組みは、4月をもって一区切りといたしますが、この後、地区育成会に義援金が寄せられることがありましたら、道育成会にお送りください。全育連を通して現地にお届けいたします。

## 6月の予定

- 1日(土) 令和6年度 事業所協議会総会・研修会
- 9日(日) 第1回「ヒアリングセッション」研修会
- 第3回函館大会本人大会実行委員会
- 24日(月) 第4回70周年事業検討委員会
- 28日(金) 第1回「ブロック事務局長会議・活性化対策委員会」

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病氣やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの  
**あんしん保険**  
少額短期健康組合保険(特約付) 2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの  
**こども傷害保険**  
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、  
弁護士がサポート

このようにお困り事に  
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

弁護士が  
全面的に  
サポート

---

**ぜんち共済株式会社**  
関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。  
[2020年1月作成 19-T06633]

**0120-322-150**  
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

**有限会社オフィスブレイン**  
〒060-0032  
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階  
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

知的障がい児者・自閉症児者の 発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

生サポは **家族の安心を支えます**

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

主な補償内容

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、自閉症児者のための  
病氣やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…  
全国で約15.5万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。  
※2023年11月時点

**AIG損保の普通傷害保険**  
**生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約

<p>病氣やケガで入院したとき 入院給付金</p>	<p>賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償</p>
<p>ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small></p>	<p>虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small></p>
<p>病氣で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 <small>※プランによって補償します</small></p>	<p>就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small></p>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者  
**株式会社 ジェイアイシー 北海道支店**  
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102  
レジディア大通公園2F  
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>  
**札幌支店**  
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F  
TEL: 011-204-7510  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

**北海道知的障害児者生活サポート協会**  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7 4階  
北海道手をつなぐ育成会内  
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2024年1月現在の内容です。(D-007025 2025-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会  
事業所協議会**

〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7(4F)  
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804  
E-mail: [doikusei@air.ocn.ne.jp](mailto:doikusei@air.ocn.ne.jp)

★会員事業所紹介★

社会福祉法人 萌木の会

**工房とみさと(就労継続支援B型・定員20名)**  
**セキレイの里(生活介護・定員20名)**

〒099-0876 北見市富里223番地1  
電話(0157)33-2826 FAX(0157)33-2833  
Eメール [leaves2022@giga.ocn.ne.jp](mailto:leaves2022@giga.ocn.ne.jp)

★主な作業・製品

- ☆菌床製作作業
- ☆椎茸加工作業
- ☆ウエス各種
- ☆縫製品(エプロン・座布団ほか)
- ☆市内公園維持管理事業(草刈り等)

